

ひとりの人が、平和の使者になろう

平和祈願祭

2006-8-9

■たいまつ行列

集合：午後6時30分(浦上天主堂)
出発：午後7時15分～

十 平和祈願ミサ

午後8時～(平和公園)

主催 カトリック長崎大司教区・平和祈願祭実行委員会

発行所 カトリック長崎大司教区 広報委員会
発行人 中 田 輝 次
〒852-8113 長崎市上野町10-34
カトリックセンター内
TEL 095(843)3869
FAX 095(843)3417
郵便振替番号 01880-5-2699
カトリック長崎大司教区ホームページ
http://www.nagasaki.catholic.jp

よきおとずれ

CATHOLIC NAGASAKI MONTHLY
カトリック長崎大司教区報

8月・教皇さまの
意向のために祈りましょう

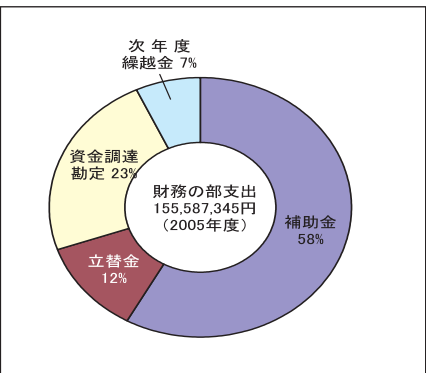
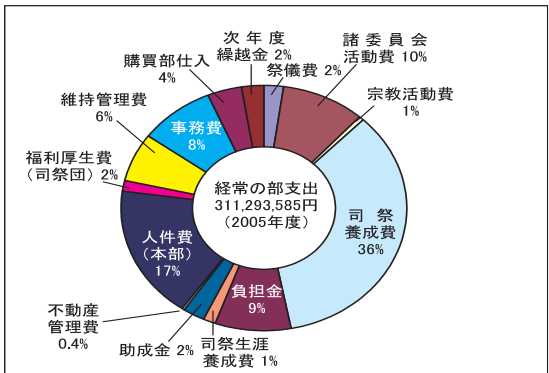
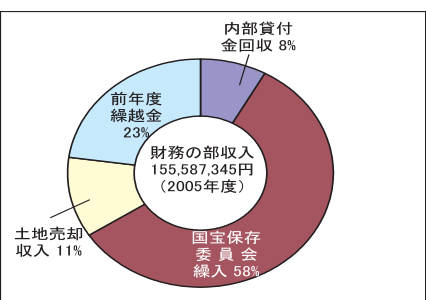
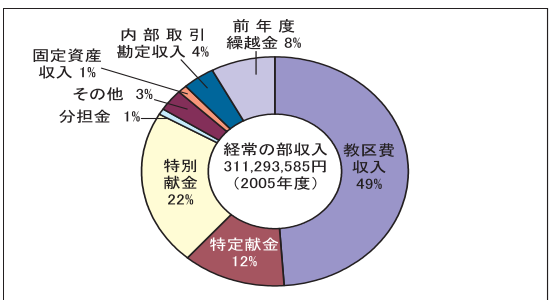
①一般の意向：孤児
②宣教の意向：
宣教者の召命の意識
③日本教会の意向：
平和を求めて

2005年度決算に関する報告

大司教区の2005年度の収支決算書が6月19日、教区顧問会で承認された。今年度の特徴は、教区経済問題評議会からの指摘を受けて、2004年度まで経常収支のみの決算だったものを財務も含めた形での決算書となった。初めての試みであるが、全体的な比率がわかるように円グラフで表示してみた。

2002年度の財政改革以来、大浦天主堂拝観料収入からの補てんをなくすことを目指した教区費改定であったが、2005年度も前年度より、約600万円目減りしていることが明らかとなった。従って、経常費補てん額は2005年度も約3,600万円とならざるを得なかった。

高見大司教は教区費の目減りについて、決算会議の中で人口の減少に伴う部分も考慮しなければいけないとした上で、今後も信徒の皆さまをはじめ、主任神父さま方のより一層の努力と協力をお願いしたいと話された。2005年7月からリニューアルオープンしたセンター事業部の収支決算書も掲載している。改装工事費・事業運営費・当初予定していた宿泊数(6,000人)が約1,000人少なかったことに伴う目減り分を含めて約1,660万円の不足となっている(立替金)。



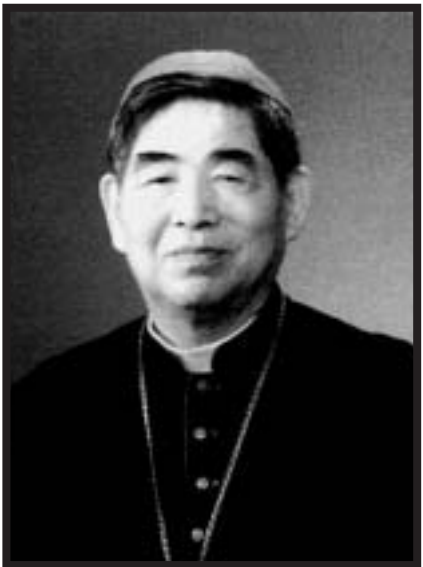
カトリックセンター事業部門 長崎大司教区2005年度収支決算書 収支決算書

収入の部		(収入の部)	
科目	決算額	科目	本年度決算 (%)
旅館売上 (宿泊料)	25,094,940 [17,667,890]	1. 経常収入の部	235,412,040 54.6%
[会議室]	[2,454,710]	教区費	152,114,744 35.3%
[食堂]	[4,972,340]	信徒	136,329,744
雑収入	904,862	司祭	12,445,000
立替金	16,652,806	修道会	3,340,000
寄付金	3,300,000	特定献金	38,840,637 9.0%
合計	45,952,608	神学生養成援助費	14,742,698

支出の部		(支出の部)	
科目	決算額	科目	本年度決算 (%)
給料及手当	14,054,480	2. 財務収入の部	135,994,884 31.6%
福利厚生費	0	固定資産収入	3,150,000 0.7%
什器備品	0	受取家賃	3,150,000
消耗品費	3,834,948	祭儀収入	4,067,284
修繕費	313,845	分担金	2,848,748 0.7%
旅費交通費	703,575	小神学院(他教区)	2,442,028
通信費	378,795	コレジオ(他教区)	406,720
水道光熱費	2,394,302	その他	9,543,418 2.2%
下水使用料	250,949	経常運転資金繰入	0
燃料費	879,049	受取利息	14,128
広告宣伝費	464,978	雑収入	9,529,290
租税公課	2,522,770	2. 財務収入の部	135,994,884 31.6%
交際接待費	281,840	固定資産収入	3,150,000 0.7%
保健衛生費	551,181	受取家賃	3,150,000
雑費	4,372,794	祭儀収入	4,067,284
保険・会費	537,360	分担金	2,848,748 0.7%
消費税	0	小神学院(他教区)	2,442,028
工事費	10,869,155	コレジオ(他教区)	406,720
原材料仕込代	3,542,587	その他	9,543,418 2.2%
合計	45,952,608	経常運転資金繰入	0

科目	本年度決算	(%)
財務委員会	20,000	
広報委員会	8,713,233	
家庭委員会	3,585,605	
召命委員会	283,048	
青少年委員会	935,200	
福祉委員会	1,489,480	
エ・諸宗教委員会	262,550	
宗教活動費	1,816,977	0.4%
教区評議会	0	
法務事務所	1,816,977	
司祭養成費	108,087,432	25.1%
大神学校	44,825,000	
コレジオ	19,310,150	
小神学校	43,952,282	
負担金	26,735,283	6.2%
中央協議会送金	18,695,490	
使徒座送金	7,439,793	
心のともしび	600,000	
司祭生涯養成費	4,556,668	1.1%
黙想研修会	2,539,423	
司祭職の日	17,245	
海外留学費	2,000,000	
助成金	7,465,000	1.7%
小教区助成金	1,900,000	
特別年(列福小冊子)	5,565,000	
不動産管理費	1,151,090	0.3%
管理費	309,990	
租税公課	841,100	
人件費(本部)	53,977,666	12.5%
聖職者(司教・司祭)	12,396,200	
職員(シスター一般)	28,543,360	
引退司祭	13,038,106	
福利厚生費(司祭団)	4,980,333	1.2%
医療費	2,269,199	
年金(掛け金)	2,711,134	
維持管理費	19,759,146	4.6%
大司教館	10,366,375	
センター(管理部門)	9,392,771	
事務費	26,409,073	6.1%
本部事務室	14,921,343	
法人事務所	11,487,730	
予備費	0	
予備費	0	
2. 財務支出の部	121,024,551	28.1%
固定資産支出	12,528,555	2.9%
購買部仕入	12,528,555	
その他財務支出	108,495,996	25.2%
補助金	90,483,790	
内部貸付金	0	
立替金	18,012,206	
積立金支出	0	
土地・建物建設資金	0	
財務運用資金	0	
資金調達勘定	0	
経常補てん	0	
3. 次年度繰越金	18,460,779	4.3%
次年度繰越金	18,460,779	
支出の部合計	430,780,930	

松永久次郎 福岡教区司教帰天



略歴
1930年3月7日長崎県平戸市深川町に生まれる。49年4月福岡サン・スルピス大神学院入学、53年10月ローマ・ウルバノ大学留学、56年12月22日ローマにて司祭叙階。57年6月ウルバノ大学卒業、その後テラノ大学、アンゼリコ大学にて教会法・神学博士号を取得。62年4月長崎大司教秘書、63年4月三ツ山教会主任兼任、64年8月お告げのマリア修道会の指導司祭。77年11月長崎大司教区補佐司教に任命、78年2月5日浦上教会にて司教叙階。90年10月福岡教区司教に任命、91年1月15日着座。2006年6月2日帰天。

第5代福岡教区長ヨセフ松永久次郎司教は、6月2日午前1時、福岡司教館の自室で脳出血のため帰天した。76歳であった。4日午後7時からカテドラル大名町教会で、教区管理者川上惣一神父司式の通夜がしめやかに行われた。突然の訃報に驚き、悲しみにくれる信徒、修道者、教区内外の司祭団50余人など800人が参列した。くしくもこの日は、本年12月に司祭叙階50周年を迎える松永司教を囲み教区民こぞって感謝の記念ミサをささげようという意で、2006年6月2日、長崎教区でも6月11日、カテドラル浦上教会での高見大司教司式による追悼ミサをはじめ、すべての小教区で追悼のミサをささげた。

教区訪問を終えた教皇大使から



本教区の司牧訪問(5月26・30日)を終えるにあたって、大使は次のようなことばを残された。
ヨハネ・パウロ2世教皇さまの歴史的な訪問から25年、長崎大司教区でのわたしの司牧訪問を終えるにあたって、心温まる感動的な歓迎をしてくださった高見大司教さま、神父さま方、修道者、信徒の方々に、わたしの兄弟としての感謝の意を表したいと思えます。
わたしはここ数日、生誕500年を迎えた聖フランシスコ会、インノセン

ランシスコ・ザビエルによって宣教された地で巡礼者として過ごしました。聖なる殉教者たちや証聖者たちの信仰、そして迫害の耐え忍んだ共同体の熱意に感服しました。原爆の恐怖を追体験し、生き残った人々のために慰めを請い願いつつ、数えきれない犠牲者のためにそして全世界の真の平和のために主に祈りました。

コンベンツアル聖フランシスコ会、インノセン

ト坂谷豊光神父、7月11日肺がんのため聖フランシスコ病院にて帰天。享年71歳。五島市久賀町生

式により執り行われ、那

平戸ザビエル教会
平戸ザビエル記念教会
が献堂75周年を迎えた。節目ごとにザビエル像、殉教者顕彰慰霊の碑を建立してきたが、従来から女性信徒の間で要望の高かった「ルルド」を建立し、去る4月23日に中島健二主任神父の手により祝別式と記念のミサを行った。

主の祝福を願ひ、長崎が教区としていつも日本と世界の教会のための霊的道しるべとしての位置を保つよう祈ります。
十アルベルト・ボツタリー・デ・カステッロ駐日教皇大使 2006年5月31日長崎にて

2006年 四旬節愛の献金
総額 7,032,056円
(7月22日現在)
皆さまのご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。
カリタスジャパン長崎支部

支出の部		(支出の部)	
科目	本年度決算 (%)	科目	本年度決算 (%)
1. 経常支出の部	291,295,600 67.6%	祭儀費	6,605,527 1.5%
祭儀費	6,605,527	祭儀費	6,605,527
諸委員会活動費	29,751,405 6.9%	宣教委員会	1,593,913
宣教委員会	1,593,913	生涯養成委員会	9,284,254
生涯養成委員会	9,284,254	信仰教育委員会	2,198,908
信仰教育委員会	2,198,908	典礼委員会	1,385,214
典礼委員会	1,385,214		

「イエスのまなざしを求めて」

2006年教区司祭黙想会

6月20日から23日まで恒例の教区司祭黙想会が、大司教館にて行われた。説教師は菊地功新瀉教区司教(写真)。かつてガナ、ルワンダに宣教師として派遣されていたときの司牧体験をもとに、「イエスのまなざしを求めて」というテーマに沿って説教した。



生活の中にイエスがどまっておられ、イエスのまなざしに気づかせてくれるのだらう。それぞれの説教の最後に福音書の一節が朗読されたが、宣教師の生活をする中でイエスに出会ったことを確認する作業となっていたことがあとでわかった。黙想会は全司祭が一堂に会する数少ない機会でもある。先輩と後輩、現役司祭と引退司祭、教区内の司祭と派遣されている司祭、ある意味デスクワークの司祭と外回りの司祭の交流もあるかもしれない。そのための長い黙想期間であるから、リフレッシュしてまた懸命に奉仕する司祭たちに期待して欲しい。

1つの意見として、100人を超える司祭たちが集まる施設はなかなか見つからないかもしれないが、福岡教区が実行に移したような「聖地での黙想会」という大胆な発音のメッセージを探る」という流れで話が展開された。



初めは慣れないのか頭の切り替えができないのか、「いつになったら聖書の箇所にとどろくのだろう」と、つい考えてしまっていたが、アフリカ宣教という考え方も文化も違う土地での生活の中に真剣に飛び込んでいくとき、イエスのまなざしが見えてくることを教えられた。福音に当てはまる実体を探索するのではなく、今まさに繰り広げられてい

典礼研修会「初聖体の典礼」

5月14日(日) 教区典礼委員会主催の研修会が長崎市文教町の純心幼稚園において行われた。講師は福岡サン・スルピス大神学院教授・白浜満神父(写真)と嘉松宏樹神父。今回のテーマは「初聖体の典礼」。遠くは平戸や五島から信徒・修道者・司祭合わせて90余人の参加者があった。研修会の主な内容は、①「入信の秘跡」としての初聖体②初聖体に向けての典礼司牧③初聖体の典礼の実践例④種々の祈り。研修の前半は、神さまの恵みをいただく手段として秘跡があること、聖体の秘跡は入信の秘跡の一部であり、秘跡の頂点ということを学んだ。本教区では、幼稚園や保育園を卒園する直前に行われていることが多い「初聖体」だが、典礼的には入信の秘跡との関連で復活節がよりふさわしいことも分かった。



また初聖体のミサにどういう工夫ができるのかを、ミサの式次第(開祭・ことばの典礼・感謝の典礼・閉祭)に従って作成する実習も行った。例えば、洗礼の秘跡との関連を示すために初聖体のミサの中で濯水式(かんすいしき)をしたり、子供たちが洗礼の恵みの感謝を行ったり、聖体拝領の後で子供や保護者が感謝の祈りを唱えることなどができるのではないかと提案もあった。

長崎の宗教と文化講話

長崎さるく博・タイアップイベント

市民セミナーヨ講義第3回は、6月17日に「殉教と潜伏 浦上四番崩れと近代日本の夜明け」をテーマに片岡千鶴子・長崎純心大学学長が担当した(写真)。



市民セミナーヨは3部構成となっており、第3回が行われた日はあいにくの雨模様だったが、第一部「ミニさるく」ではサンタ・クララ教会跡、ベアトス様の墓、如己堂永井隆記念館を見学した。第2部の講話は会場の大浦天主堂に集まった参加者全員に詳細な資料が配られ、片岡千鶴子氏が迫害時代を生き抜いたキリシタンの様子を解説した。殉教の事例や、迫害でキリシタンは存在しなくなったと思われるという

いぶどう園

「祈りの一日」とともに「祈る日々」は、実生活や問題を振り取り、静かに祈りたい、静かな時間を過ごしたいと思う方へ。ご自分でも(信徒・一般の方)も問いまっせん。自由に参加できるものです。

●祈りの一日 ①8月7日(月) ②8月9日(水) ③8月15日(火) ④9月18日(月) 9時50分～15時半
●ともに祈る日々 8月19日(土) 20日(日) 初日17時～翌日15時半
TEL 095(821)4577

▼原爆殉難者慰霊祭 8月8日(火)19時 長崎市松山町原爆落下中心地
▼根獅子・紐差合同殉教祭 8月14日(月)19時 平戸市根獅子の浜
▼佐世保地区平和祈願祭 8月15日(火)10時 アルカスSASEBO 高見大司教司式
▼市民セミナーヨ第5回講話「長崎の寺々、これからの長崎と宗教」 8月19日(土)19時 大浦天主堂 講師・三浦達美浄土真宗本願寺派大光寺住職 問合先・アジェンダNOVAながさき
TEL 095(848)0492
▼教区結婚講座 9月5日(土) 29日のうち8回 毎週火・金曜日の19時～21時15分 カトリックセンター12階講堂 申込先・

家庭委員会 TEL 095(842)4450
▼福者カミロ・コンスタンツ殉教祭 9月17日(日)14時 平戸町焼罪史跡公園
▼聖トマス西と15殉教者ミサ 9月24日(日)14時 聖ドミング教会から巡礼・中町教会にてミサ 高見大司教司式
長崎大司教区 ●中田三穂様(城山) ●川上惣一神父様(福岡・二日市) ●坂下スミ様(真手ノ浦) ●匿名様(愛知県) ●田中一郎様 田中チカ子様(中町) 右の方々からご寄付を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。

香典返し お礼とご報告



社会福祉法人「サクラ」開所祝別式

7月1日に「社会福祉法人一粒の麦の会」知的障害者通所授産施設サクラ(代表者小瀬良明神父、末永さち子施設長)が北松浦郡江迎町に開所し、これに先立って6月17日は、高見大司教による祝別式が行われた。同施設はこれまでにも「小規模作業所 サクラ」として知的障害者の働く場(洗車作業、パン作り、箱折り、農作業など)を提供してきたが、このたびは県の補助や多くの支援を受け、社会福祉法人としての開設が実現した。「カルカタは私たちの周囲にある」とマザー・テレサは教えたが、この施設が教会と社会との接点になるようにと希望されている。祝別式には県内外各地から司祭・関係者らが駆けつけ、施設内各場所の祝別を見守った。



長崎コレジオ ●平 国光様(奄美大島) 故マリアアキエ様 長崎カトリック神学院 ●深堀辰男様(時津) 故マリア・マグダレナ 深堀フジノ様 ●生田美香子様(大萱) 故ペトロ生田清二様 ●田中初雪様(諫早) 故フランシスコ 田中末雄様 ●山田美代子様(浦上) 故洗者ヨハネ 山田眞栄様 ●浦 徳男様(浦頭) 故フランシスコ 浦 克久様 ●濱崎エミ様(出津) 故マリア濱崎ウキ様 右の方々から神学生養成のために、香典返しに代えてご芳志を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。ごめい福を心からお祈り申し上げます。

タンスの中身は入れたまま責任ある安全運送!! (見積り無料・荷造り発送も致します)

水浦運送 シモン 水浦 幹雄 長崎市上野町12-3 TEL(095)847-7151 844-1420

24時間営業・年中無休 受付時間 7:00~22:00

貨物保険有り ●小荷物 ●遠距離 ●ピアノ運搬 ●一般引越 ●荒ゴミ捨て ●学生引越

溝部 脩司教とゆく『天正遣欧使節巡礼』

天正の遣欧少年使節巡礼へのお誘い

188殉教者の列福を求め、殉教者の霊性に触れる旅に出てください。天正の少年使節として、日本で初めてヨーロッパ各地を公式訪問し、日本の司教団が列福の申請を行っている188殉教者の一人、中浦ジュリアンの足跡を辿ります。188殉教者の列福を早期に実現したいという日本の全教会の願いを表すため、日本司教協議会の意向を受けて、この旅行を企画しました。ローマを始め、ポルトガルとスペインの各地に今も残る、中浦ジュリアンの足跡を辿る巡礼をとおして、殉教者の熱いこころに深く触れることができます。ぜひ一緒に巡れることを期待しながらお待ちしています。日本司教協議会殉教者列福調査特別委員会 委員長 溝部 脩 高松司教

●旅行期間: 2006年9月25日(月)~10月3日(火)(9日間)
●旅行代金: 358,000円(個室料金60,000円) ●最少催行人員: 30名
●コース: 成田→ローマ(3泊)→リスボン(泊)→トルヒーリョ(泊)→グアダレペ→マドリード(2泊)→(機内泊)→成田
●食 事: 朝7/昼7/夕6 ☆日本航空、アリタリア航空利用予定
●後 援: 日本司教協議会殉教者列福調査特別委員会

問合せ・申込先

パックス インターナショナル TEL 03-3561-0755 FAX 03-3561-0759 〒104-0061 東京都中央区銀座1-6-11 志志ビル6F

白蟻調査無料・駆除工事5ヶ年保証付 白蟻防除施工士

大田白蟻研究所 代表者 マリア 大島 睦子 (〒850-0811) 長崎市矢の平1丁目14番15号 番長崎 095-822-8436 FAX 095-822-8436

主の平安 カトリック式葬祭・節付一式

(有) 栄光式典社 代表取締役 ハウロ 西村 勇夫 長崎市辻町7-18 TEL(095)844-4011 24時間営業 FAX(095)843-9896

石の蔵 墓地分譲 墓石 設計 施工 千羽石材 TEL 095-886-3386 (または 090-4984-5906) 長崎市琴海大平町1977-17

2006年8月9日

「ひとりひとりが、平和の使者になろう」 集合午後6時30分 浦上教会

列福式候補地に長崎教区

来年予想されるベトナム中部187殉教者の列福式候補地に長崎教区を選ぶ。7月東京で開いた常任司教委員会が決まったもので、列福準備司教特別委員会委員・溝部高松司教のほか宮原大分司教、高見大司教、大塚京都司教の委員も決まる。募金目標額は3千万円。近く各教区などに呼び掛ける。(カトリック新聞)

教区評議会発足総会

教区評議会の発足総会が、6月18日カトリックセンターで開催された。まず、大司教による講話、役員選出、活動方針・計画・予算の審議が行われた。教区信徒使徒職評議会から移管された活動

教区連合婦人会総会開催

6月3・4日、カトリックセンターで第14期教区連合婦人会総会が開かれ、高見大司教から新役員の任命が行われた。新役員は次の通り。



会計監査柴田芳男(経済評論員) 同半田チエ子(修女連)
〔事務局〕 村田豊嗣、長野宏樹、辻喜美子、松本修
同 里村 一子
(上神崎、平戸地区会長) 書記 白根かおり
(滑石、北地区副会長) 会計 小笹 良子
(西町、中地区副会長) 理事 赤倉 孝子
(中町、南地区会長) 同 尾下タマヨ

〔出津、北地区会長〕 同 水口 照美
(鮎の浦、南地区副会長) 同 古木 久子
(青砂ヶ浦、上五島地区会長) 同 福島 久子
(奈留、下五島地区会長)

全国修道女会九州地区研修会

6月3日14時から、全国修道女会九州地区研修



被爆した浦上天主堂の「獅子頭」里帰りの記事で、獅子頭の位置を示す写真を6月号に掲載したが、深堀さんの検証で教会正面入り口、柱の飾りだったことが判明した(円内、欠落場所を示す写真)。写真の検証、国証、内、アメリカ

好敏さん(77)



1979年8月立ち上り、推進役を務める。「9人の会員、87歳を筆頭に70代後半という高齢者が大半で被爆の証言同様、職中(事務局)から秋月辰一郎先生に請われ、長崎証言の会会員、平和推進協会会員。被爆は旧制中4年の時、学徒報国隊で蜷茶屋の長崎県疎開事務所にいて助かる。山里町の自宅は全焼、姉を亡くす。他の家族は川平に疎開して無事だった。夫人を早く病気で失い1人暮らし。坂本町居住。浦上教会所属。名刺「平和の原点は人間の痛みがわかる心を持つことです」とあり裏には英文もあった。

船舶の航海安全祈るキリストの聖像

—高井旅教会



五島灘を臨む南松浦郡新上五島町高井旅教会前に、世界の王であるキリストの聖像(写真)が建



洗者ヨハネ 山田 眞榮さん(山田聡師美父)

愛宕教会献堂50周年

愛宕教会(主任司祭・盛 克志、師・レナンブートル会)は、昭和31年、大浦、中町教会から分離・独立し、カナダの故国をあとにして来日された宣教師たちにより、愛宕山のふもとに創立された。その後、同修道会のドイツの管区司牧が引き継がれた。贖い主の祝日、7月16日、献堂50周年の記念日には、高見大司教、南地区やレナンブートル会の司祭、来賓の方々を迎え、盛大に記念ミサ・祝賀会が行われ



公開聖書講座

6月15日、カトリックセンターで教区生涯養成委員会主催聖書講座の一環として大阪教区の和田幹男師による公開聖書講座が行われた。今年の聖書講座は年間を通して詩編を学ぶ講座になっているが、和田師は「詩編は祈りの中の祈りである」という視点で集まった受講生に詩編を解説した。通常90分の講義を充実するために相当の時間を要するが、準備した内



この大きな節目に信徒一同、主とともに歩む新たな出発を決意した。

幼稚園園長総会

5月30日、カトリックセンターで長崎大司教区幼稚園協会主催の園長総会が開かれ、代表者ら約30人が集まった。写真。



午前中は溝部 脩司司教(高松教区)を講師に招き、「やる気のある先生へのメッセージ」というテーマで講話が行われた。子供たちの生活能力や応用力の低下が指摘され、学

マリアポリ

—普遍的な兄弟愛に

6月23・25日の2泊3日、フォコラーレ主催のマリアポリが佐世保市で

ザビエル家の子孫へ

水上バイクで航海しているザビエル家の子孫ス・ペインの冒険家アルバロ・デ・マリチャルさんが6月17日平戸のザビエル記念聖堂を訪ね、白浜同市市長、信徒らに迎えられ聖堂で祈りをさげた。

社会福祉施設めぐり(完) 児童福祉施設児の叫び!

――ぼくらの願い(文集から)――

「児童養護施設」の企画連載で長崎教区管内を駆け足で回った。幼児から小中高生、皆明るく笑顔がいい。施設職員の温かい指導が行き届き、家庭の雰囲気十分に満ちていた。毎年、長崎県社会福祉協議会と児童養護施設協議会は、「ぼくらの願い」と題した児童福祉施設入所児童の文集を発行している。各施設からの応募作品だが子供たちは何を考え生きているのか、文集から透けて見える真実の叫びを拾った。(本文、一部略)

▽「私が一番悲しかったことは、お父さん、お母さんからはなれてくらすことになったことです。でも施設に来たら私より小さい子供がいっぱいいました。(きつと、この子たちはお父さん、お母さんにいたいだろうな)」と思いました。手紙に、早くむかえに行

くから、それまでまゝ



(福)子どもの虐待防止センター

中学生になつた頃から家に帰らなかつた。母の顔がはれていることがありまし。私はそんな生活にたえられなくなり、保健相談所に相談をしました。10月のはじめ学校から私が帰ると、家には兄がひとりいて、私たちはなぜ母がいらないのか分からなかつた。とまどっているうち男の人たちに、「すぐに必要なものをまとめて車につみなさい」といわれ気が付くと施設玄関の前にいまし

「ついでにね」と書いてありました。(私はお父さん、お母さんがむかえに来るまでずっと待つとく)(小学生)

なあと思いました。神さまがいたらお母さんとお父さんとぼくの3人で、暮らせるようにお願いしようと思いました(小学生)

▽「夏休み、お父さんに、飛行機で会いに行つた。窓には白い雲が浮かんでいました。神さまもこの雲の上にいるのか

▽「施設の交流で人の温かさ、優しさ、思いやりにふれる機会が何度もあり、親切さといった、私

一度でいい母に会いたい

施設で人の温かさを知る

虐待防止に保育士めざす

(中学生)

▽「体育祭などの時に、みんなや先生方が応援に来てくれるのはとても嬉しいと思います。でもやっぱりお母さんにも見てほしいなあと、思っています。私は施設で12年間生活してきま

▽「中高校生の中には、不満のために心が曇って

毎日がそのくり返しで、つらいやになる。それどころじゃない。小さいころからなぐられたり、たたかれたり、私の家ではふつうのようであつた(小学生)

▽「今、子供たちに関する問題が世界を賑わせています。虐待、殺人と悲惨な事件が増えていきます。私は子供をそのよう



希望の灯学園のバザー

ています(高校生)

11月 児童虐待防止推進月間

最近の新聞見出し 娘に熱湯、義母に懲役2年の判決
――長崎地裁――

昨年3月末現在、虐待・離婚による要保護児童は35,792人。前年同期に比べ1,091人増える。
――厚労省調べ――

マタイ5章9節

「平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。」

8月になると私はいつも原爆のことを思いま

す。今私は浦上教会に安置されている「被爆マリ

ア像」の前に座っています。長崎の原爆の火で焼かれたマリアさまのお顔はとても悲しそうで、苦しそうで、私たちに何かをうたえかけてきそうです。

今、世界では戦争やテロが後を絶ちません。毎日のようにテロで人が死んでいく、そんな中であつてそういうニュースを聞いても、もう驚かなくなっている自分に気づくことがあります。それ

みことばにふれて

本田靖彦神父



はとても怖いことだと思います。戦争やテロで、もし自分の家族が亡くなつたら、と考えると人ごとではなくなつてきます。

私の家族のことです。私が、私はおじいちゃん

を2人とも知りません。会つたことも、顔を見たくさんの涙が流されました。マリアさまもきつと天国でたくさん涙を流されたことでしょう。そして今も...

8月15日は聖母の被昇天です。イエスさまのお母さんとしての役割を立ちていなければ今ごろ元

世界で最も権威あるガーデニングショー「切尔西フラワーショー」がこの5月、英国のロンドンで

英国のガーデニングショーで金賞(英国王立園芸協会)

石原和幸さん



「青嵐」

開かれ、長崎市の造園業「風花」代表石原和幸さん(48)が金賞(写真)を受賞した。フラワーショーは、英国女王が総裁を務める英国王立園芸協会の主催。

長崎県新人発表演奏会 向井さんにグランプリ

この5月、長崎ブルックホー音楽家の登竜門「第34回長崎県新人発表演奏会」(長崎県文化団体協議会など主催)が開かれ、長崎市立岩町の向井静香さん(写真、聖マリア学院卒、城山教会所属)が、ピアノ演奏で初代グランプリを獲得、来年度のグスト出演が決まった。



演奏会は、3月実施された52人によるオーディションで優秀者10人が選ばれ、グランプリを競った。向井さんは「演奏会は大きな目標でした。す

ばらしい賞をいただき光栄です。先生や両親をはじめ支えてくださった方々に感謝します」と喜びを語った。活水女子大音楽学部卒業。お母さんは教会オルガニスト。

○写真・御絵・思い出など 彫刻
○石碑
○納骨石工事
○納骨堂分譲
長崎石彫 なが さき せき ちょう
ヨゼフ 岩永 博明
☎(095)862-2469
長崎市梁川町6-17 岩永ビル2F

AM10時～PM6時
【書籍】聖書、祈祷書、聖歌集etc
【製品】十字架、ロザリオ、聖像etc
【その他】CD・DVD、ピアノetc
【定休日】日曜・祝日(要期休業日)8月14日～16日
キリスト教書籍・用品専門店
サンパウロ 長崎宣教センター
長崎市中野町2-6(カトリックセンターから徒歩1分)
TEL 095-841-8033 FAX 095-841-8034

✦NPO法人 浦上の丘福祉支援サービス✦
・デイサービスセンター 浦上の丘
・移送支援サービス 浦上の丘
・ヘルパーステーション えびら
地域の中で個人の人格を尊重し 安心して生活できるように
それぞれにあった介護サービスを提供します
住所 長崎市江平2丁目10-24
電話 095-845-3294 担当 岩永まで
【各専門職募集集中】

砕石・栗石・港湾用捨石一式生産販売
たつみ産業株式会社
西田商事株式会社
代表取締役 ミカエル 西田 寛己
本社 〒857-1166 佐世保市木風町1468番地
TEL (0956) 31-8268

墓地改修・新設 法定手続・計画・施工
主な施工実績 城山教会墓地、浜申教会墓地、
鮑ノ浦教会墓地、青砂ヶ浦教会墓地
(有)長崎大理石 社長 ヨハネ 浜本 直行
本社 長崎市つつじが丘5-1-15
加工工場 諫早中核工業団地
095-839-0374

教会バンコ・祭壇・朗読台・家庭祭壇
浜口木工所
ヨハネ 浜口 知博
〒857-0032 佐世保市宮田町7-7
☎(0956) 23-1867